

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和1年6月3日から令和2年2月21日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 B18055 050272	

2 福祉サービス事業者情報（令和1年10月現在）

事業所名： 山ノ内町ほなみ保育園	種別：保育所	
代表者氏名：町長 竹節 義孝 (管理者氏名) 町長 竹節 義孝	定員（利用人数）：90（59）名	
設置主体：山ノ内町 経営主体：山ノ内町	開設（指定）年月日： 昭和51年4月1日	
所在地：〒381-0402 下高井郡山ノ内町大字佐野1058		
電話番号：0269-33-0543	FAX番号：0269-33-0543	
ホームページアドレス： http://www.town.yamanouchi.nagano.jp		
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員 3名	
専門職員	園長 1名 保育士 2名	
	保育主任 1名 給食調理員 1名	
	保育士 9名	
	給食調理員 2名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(屋外遊具等)
	ほふく室 2室	砂場
	保育室 4室	滑り台
	遊戯室 1室	ブランコ
	調理室 1室	鉄棒
	事務室 1室	雲梯
	便所 1室	ジャングルジム

3 理念・基本方針

山ノ内町では「子どもや子育てにやさしいまち 山ノ内 みらいへつなぐ、ふるさとのまちづくり」を基本理念に①子育て家庭の支援②親子の健康確保と増進③教育環境の整備④子育てにやさしい生活環境の整備⑤要保護児童・家庭への支援を基本目標としている。

【山ノ内町の保育目標】

子どもたちが「のびのび」、「すくすく」、「たくましく」育つことは、子を持つ親にとって最大の願いであり、保育園をはじめ地域全体の願いでもあります。

子どもたちの健やかな心身の成長を願って、次の保育目標をたて、年齢、個人差を考慮しながら保育を進めます。

- 十分に養護のゆきとどいた環境のもとに、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。
- 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康・体力の基礎を培うこと。
- 人とのかかわりの中で、人に対する愛情と信頼感そして人権を大切にすることを育てると共に、自主、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
- 自然や社会の事象について興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。
- 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養うこと。
- 様々な体験を通して、豊かな感性を育て、創造力の芽生えを培うこと。

【山ノ内町人権・同和教育目標】

- 健康で明るく、だれとでも仲良く遊ぶことができる豊かな心を育てる。
- 困っている友達に、優しさや思いやりの気持ちを持って接し、みんなで助け合う心の大切さを培う。
- 仲間はずしや意地悪に負けず、差別をはねのけることができる態度を養う。

【ほなみ保育園の保育目標】

保育園では、一人一人の子ども達が心身とも健やかに成長することを願い、発達段階をふまえながら、下記の目標に向かって基本的な生活習慣や集団生活に基礎を養っていきます。

- 健康で意欲的に遊べる子ども
- やさしく思いやりのある子ども
- 見たことや感じたことを表現できる子ども
- 我慢ができる子ども

【ほなみ保育園の人権同和教育目標】

「人権同和教育」の基本は人権感覚の育成であり、誰もが希望を持って生きていく権利を他から疎外されないよう保障があってこそ人格が成立するものです。幼い子ども達にも生活体験を通して、自分の行為が人の迷惑になった時には、人の心を傷つけてしまっていることなどに気づく心を育てていきます。

- 友達と仲良く遊べる子ども
- 思いやりのある子ども
- みんなの良さを認め合える子ども
- 話をよく聞き、自分の思いも伝えられる子ども
- 命の大切さがわかる子ども
- 自分のことは自分でできる子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

1 恵まれた自然環境と保護者や地域に支援された保育

山ノ内町の夜間瀬川の扇状地の南部に位置し、リンゴ等の果樹が等栽培される田園地帯に保育所がある。佐野、角間、菅、寒沢、戸狩、穂波温泉地区の園児が通っている。近くには南部小学校があり、佐野遺跡や佐野神社といった歴史的史跡がある。近年は人口の減少が課題となっている。

園児は59名であり、クラスは1歳児のひよこ組、2歳児のうさぎ組、3歳児のり

す組、4歳児のぱんだ組、5歳児のきりん組の5クラスとなっている。園長、主任保育士、9名の保育士、2名の代替保育士、2名の延長保育士、3名の調理員で運営されている。

お散歩等の園外保育では、田園地帯でもあり、里山もあり、歴史的遺跡、南小学校や特別養護老人ホームいで湯の里があり恵まれている。保護者会も園舎周辺の草刈り、運動会の準備と積極的な活動がされている。また園の隣の家が防犯の協力連絡先になっている。地域の住民も保育園の活動を温かく見守っており地域と一体になった保育が行われている。

2 充実した通常保育

近年注目されている「運動あそび」きれいな子どもを育てる「セカンドステップ」を伝統的に継続して積極的に取り組んでいる。「運動あそび」はコアを発育発達に合わせて進化していくことで身体の機能を向上させ、更にこころ・からだ・あたまのすべてを使って楽しく遊ぼうをコンセプトに「運動あそびカリキュラム」として①身体の軸となる体幹を正しく学習し、“いい姿勢”を身に着ける。②良い姿勢を獲得することで、身体機能を向上させる。③身体機能が向上することで「体を動かすことが楽しい」→「できるようになった!」、「また、やりたい!」につなげる運動・あそびの習慣に取り組んでいる。3歳児から5歳児までの体系的カリキュラムが目標と具体的内容が体系的にできている。

「セカンドステップ」は米国で作成されたプログラムで①ファーストステップ：暴力（虐待）やいじめを受けた子をケアするプログラム②セカンドステップ：暴力やいじめをさせないためのプログラムとして日本でも効果を上げている。子どもの衝動的・攻撃的な行動をやわらげて社会的生活を円滑に送れることを目的に全ての子どもが健全に育つことを目指しプログラムとして長年取り組んでいる。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回初受審
---------------	-------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

1 子どもの人権を尊重した保育

山ノ内町では、町としての「山ノ内町保育目標」に加え「山ノ内町人権・同和教育目標」を定めている。ほなみ保育園でも町の目標に準じ「人権・同和教育目標」を定め保育に活かしている。この取り組みは山ノ内町全体の保育園で共有され、山ノ内町の全ての保育園が参加する「山ノ内町保育研究会」で取り組んでいる。部会の一つに「人権・同和教育部会」があり継続的に保育に活かしている。人権の尊重は「保育園だより」に「人権・同和教育目標」や「児童憲章」を記載し保護者に周知している。また園として「ほなみ保育園人権・同和教育年間目標を各年齢別に作成し、年間指導計画等で具体的に行われている。毎年新入園児の家庭訪問を実施しており、家庭環境を把握し児童の人権を尊重した保育に取り組んでいる。

2 主体的に活動できる素晴らしい遊具等・自然・地域の保育環境

古い園舎ではあるが、木をふんだんに使って手入れが行き届いており、ほっとする心地よい雰囲気がある。耐震工事やエアコンが整備されている。園庭も広く、楓やいろいろな木が植えられ季節感がある。園庭には冬、雪が降るとすべり台となる傾斜の

築山がある。遊具はブランコ、すべり台、ジャングルジム、鉄棒、雲梯、砂場等が十分整備されている。また、園外保育は田園地帯でもあり、里山もあり、歴史的遺跡、南小学校や特別養護老人ホームいで湯の里があり恵まれている。地域との結びつきの強く保護者会も園舎周辺の草刈り、運動会の準備、親子安全教室の実施等され連帯感が強い。不審者についても畑仕事をしていながら園の様子を確認する農家の方、近隣の小学校や家庭の応援がある。子どもたちは素晴らしい環境の中で明るくのびのび育っている。

3 充実した「運動あそび」や「セカンドステップ」の通常保育

近年注目されている「運動あそび」きれいな子どもを育てる「セカンドステップ」を伝統的に継続して積極的に取り組んでいる。3歳児から5歳児までの体系的カリキュラムが目標と具体的内容が体系的にできている。冬も広い遊戯室がありマットやとび箱を使った運動あそびができるようになっている。年間の行事予定には「運動あそび」と「セカンドステップ」が計画されている。「運動あそび」は年6回の3歳児から5歳児のカリキュラムがある。令和元年度の「セカンドステップ」は10回、具体的内容計画され実施されている。「セカンドステップ」は人権を尊重した保育でもある。

◇特に改善する必要があると思う点

1 安心・安全な福祉サービスを提供できるリスクマネジメント体制の充実

安心・安全な福祉サービスでは事故防止、感染症対策、災害等の対応等が個別に実施される仕組みになっている。これらをリスクマネジメントとして統括する責任者の選任・配置や委員会の設置にまでは至っていない。ヒヤリハットの取り組みや消防計画での自主検査記録の確認、園児が散歩で利用する道路危険マップを作成し、危険個所の洗い出しと見直し等多岐にわたるリスクを評価・検討し改善できるリスクマネジメント体制の充実を期待する。

2 マニュアル等の整備と定期的な見直し

山ノ内町保育園管理規則、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、不審者対応マニュアル等が整備され運営されている。一方倫理綱領、虐待防止マニュアルやプライバシー保護の規程、実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアル、ボランティアに関するマニュアル等については明示された規程やマニュアル等がなく整備することを期待する。またマニュアルを定期的に見直し、均質な福祉サービスの確保することを期待する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和2年2月17日記載）

今回初めて第三者評価を受けさせていただきました。県保育大会等慌ただしい中での受審となり行き届かない点もあったかと思いますが快く対応させていただきました。

結果等を見て、改めて良い自然環境や地域の皆様、保護者の皆様に恵まれ支援されて保育できていることがありがたく、それが子どもたちにとっての人権を尊重する良い保育となっていることをうれしく思いました。

今後はさらに、リスクマネジメント体制の充実を図るため様々な対策や対応の検討を進めていき、マニュアルについても明文化できるよう検討を重ねていきたいと思ひます。また、地域の子どものために保護者の声に答えながら保育の向上に努めていきたいと思ひます。